

# 第46回柏市第二清掃工場運営委員会（第32回定例会）会議次第 （書面会議）

令和3年3月  
柏市南部クリーンセンター

## 1 議題

第1	監視項目（令和2年8月～令和3年1月分）	1～15
第2	周辺環境監視項目	16～17
第3	報告事項	18～19
第4	放射性物質対応経過	20～21
第5	実施状況及び今後の日程	22～26

## 4 その他

- ・柏市第二清掃工場運営委員会監視要領(案)の修正について  
（正誤表）

## 5 送付資料等

(1)	書面会議の開催について（ご案内）	1枚
(2)	質疑書	1枚
(3)	意見書	1枚
(4)	会議次第（本書）	1部
(5)	報告事項等資料	1部
(6)	正誤表	1枚
(7)	報告事項説明資料	1部
(8)	前委員会の指摘に対する回答	1部
(9)	返信用封筒	2部

# 第1 監視項目（令和2年8月～令和3年1月分）

## 1 排ガス

測定頻度(測定月)	年6回（8月，10月，12月）
-----------	-----------------

測定業者：中外テクノス株式会社

項目	基準値		測定結果			評価 注1
	法基準	保証値	測定日	1号炉	2号炉	
ばいじん (g/m <sup>3</sup> )	0.04 以下	0.01 以下	8/4	0.002 未満	-	○
			10/6	-	0.002 未満	○
			12/1	-	0.002 未満	○
硫黄酸化物 (ppm)	K 値 9 以下 注3	10 以下	8/4	0.4 未満	-	○
			10/6	-	0.4 未満	○
			12/1	-	0.4 未満	○
塩化水素 (ppm)	430 以下	10 以下	8/4	0.4 未満	-	○
			10/6	-	0.4 未満	○
			12/1	-	0.5	○
窒素酸化物 (ppm)	250 以下	30 以下	8/4	15	-	○
			10/6	-	14	○
			12/1	-	16	○
水銀 (μg/m <sup>3</sup> )	50 以下	30 以下	8/4	0.05	-	○
			10/6	-	0.08	○
			12/1	-	0.13	○
一酸化炭素 (ppm)	30 以下 注2	30 以下	8/4	4 未満	-	○
			10/6	-	4 未満	○
			12/1	-	4 未満	○

注1 評価の欄は保証値に対しての評価です。

注2 一酸化炭素は法基準ではなくごみ処理に係るダイオキシン類発生防止等ガイドライン(平成9年1月)によります。

注3 硫黄酸化物のK値規制

大気汚染の程度によって16段階の地域に分け、それぞれ係数(K値)が定められており、計算式により許容量を算出します。

法基準：122m<sup>3</sup>/h（約2120ppm）

## 2 ダイオキシン類

測定頻度（測定月）	年4回（10月）
-----------	----------

測定業者：中外テクノス株式会社

項目	基準値		測定結果			評価
	法基準	保証値	測定日	1号炉	2号炉	
大気排出基準 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> )	0.1以下	0.01以下	10/6	-	0.00000021	○
			-	-	-	-
スラグ等基準 注 (ng-TEQ/g)	3以下	3以下	-	-	-	-
			-	-	-	-
飛灰基準 (ng-TEQ/g)	3以下	3以下	10/6	0.076		○
			-	-		-
主灰基準 注 (ng-TEQ/g)	3以下	3以下	10/6	0.00045		○
			-	-		-
水質(放流水) (pg-TEQ/l)	10以下	10以下	10/6	0.00010		○
			-	-		-

注 溶融スラグは発生していないため、主灰を測定しています。

### 3 騒音基準（清掃工場敷地境界及び敷地内）

測定頻度（測定月）	年1回（12月）
-----------	----------

測定日 令和2年12月1日～12月2日

項目（時間帯）	法基準	保証値	評価
昼間：午前8時～午後7時	50 dB	50 dB	○
朝夕：午前6時～午前8時, 午後7時～午後10時	45 dB	45 dB	○
夜間：午後10時～午前6時	40 dB	40 dB	○

測定業者：中外テクノス株式会社

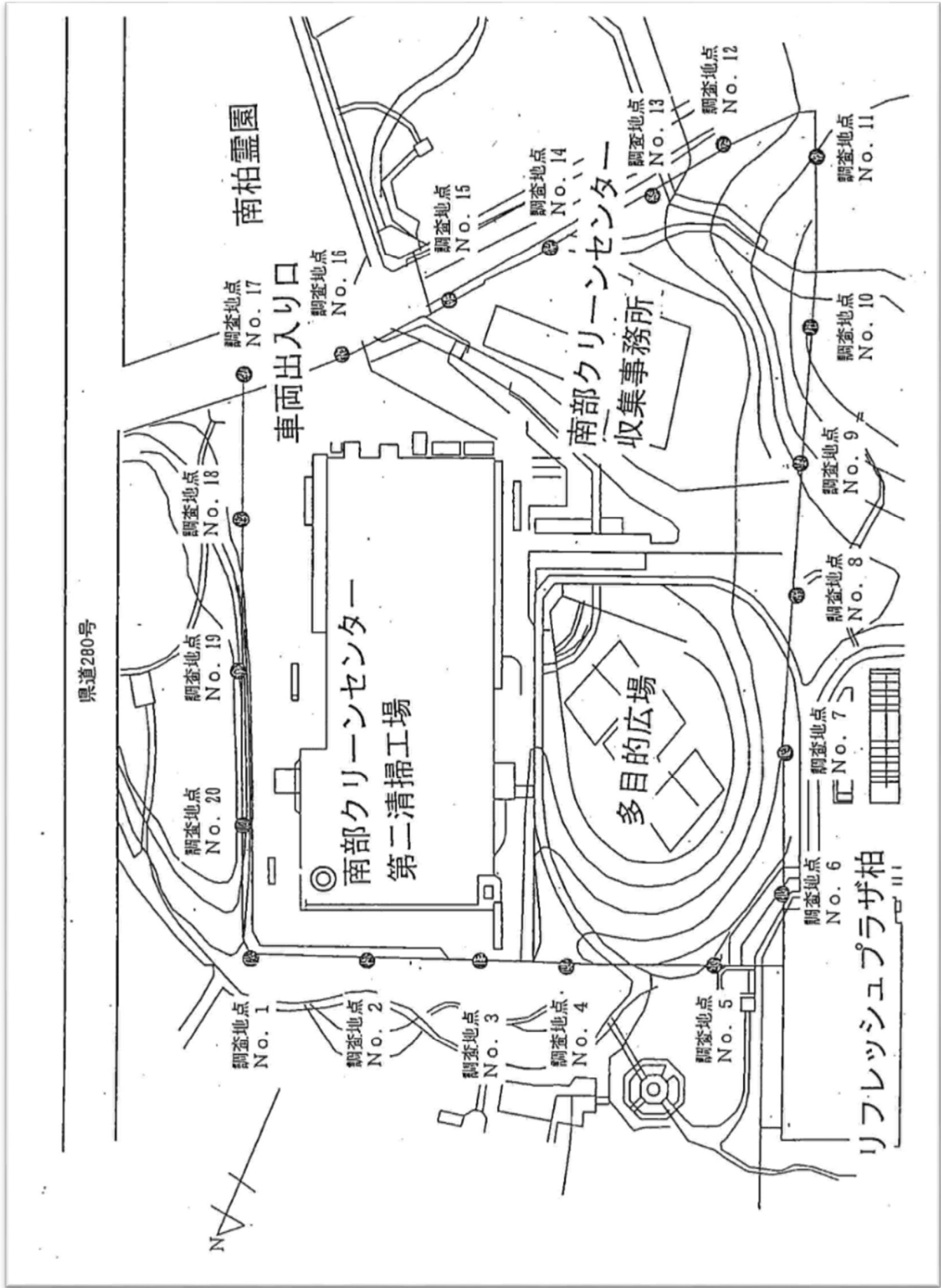
測定結果			測定結果		
昼間（50dB以下）			夕（45dB以下）		
測定位置	測定結果	評価値	測定位置	測定結果	評価値
No. 1	45	45	No. 1	43	43
No. 2	45	45	No. 2	42	42
No. 3	47	47	No. 3	41	41
No. 4	45	45	No. 4	44	44
No. 5	44	44	No. 5	44	44
No. 6	46	46	No. 6	44	44
No. 7	44	44	No. 7	44	44
No. 8	43	43	No. 8	41	41
No. 9	42	42	No. 9	42	42
No. 10	41	41	No. 10	42	42
No. 11	41	41	No. 11	43	43
No. 12	42	42	No. 12	39	39
No. 13	39	39	No. 13	41	41
No. 14	42	42	No. 14	41	41
No. 15	46	46	No. 15	44	44
No. 16	43	43	No. 16	41	41
No. 17	47	47	No. 17	43	43
No. 18	48	48	No. 18	44	44
No. 19	48	48	No. 19	44	44
No. 20	50	50	No. 20	45	45

単位：dB

測定結果			測定結果		
夜間 (40dB 以下)			朝 (45dB 以下)		
測定位置	測定結果	評価値	測定位置	測定結果	評価値
No. 1	38	38	No. 1	44	44
No. 2	39	39	No. 2	44	44
No. 3	38	38	No. 3	44	44
No. 4	40	40	No. 4	44	44
No. 5	40	40	No. 5	45	45
No. 6	40	40	No. 6	44	44
No. 7	40	40	No. 7	45	45
No. 8	39	39	No. 8	45	45
No. 9	39	39	No. 9	44	44
No. 10	39	39	No. 10	43	43
No. 11	40	40	No. 11	43	43
No. 12	38	38	No. 12	43	43
No. 13	38	38	No. 13	41	41
No. 14	38	38	No. 14	42	42
No. 15	40	40	No. 15	45	45
No. 16	40	40	No. 16	43	43
No. 17	39	39	No. 17	44	44
No. 18	40	40	No. 18	45	45
No. 19	40	40	No. 19	44	44
No. 20	38	38	No. 20	44	44

単位：dB

騒音，振動，悪臭調査地点図



#### 4 振動基準（清掃工場敷地境界）

測定頻度（測定月）	年1回（12月）
-----------	----------

項目（時間帯）	法基準	保証値	評価
昼間：午前8時～午後7時	55 dB以下	55 dB以下	○
夜間：午後7時～午前8時	50 dB以下	50 dB以下	○

測定業者：中外テクノス株式会社

測定結果		
測定位置	昼間(12/1)	夜間(12/2)
No. 1	25 未満	25 未満
No. 3	25 未満	25 未満
No. 15	25	25 未満
No. 17	25 未満	25 未満

単位：dB

## 5 悪臭基準（清掃工場敷地境界）

測定頻度	年 1 回
------	-------

項目	法基準	保証値	評価
臭気濃度	1.5 程度 注 1	1.0 以下	—
悪臭物質	測定結果表に記載	測定結果表に記載	—

注 1 千葉県悪臭物質防止対策指針(昭和 56 年 6 月)

測定業者：中外テクノス株式会社

測定日	項目	保証値	測定位置	測定値 注
	臭気濃度	1.0 以下	No. 1	/
			No. 3	
			No. 5	
			No. 7	
			No. 9	
			No. 11	
			No. 13	
			No. 15	
			No. 17	
			No. 19	

注 測定結果は次回（第 47 回）の委員会で報告します。



悪臭物質

測定業者：中外テクノス株式会社

項目	法基準 (単位 ppm)	保証値 (単位 ppm)	測定結果 注
測定日		—	
風 向		—	
風 速(m/ s)		—	
風下地点		—	
アンモニア	1以下	1以下	
メチルメルカプタン	0.002以下	0.002以下	
硫化水素	0.02以下	0.02以下	
硫化メチル	0.01以下	0.01以下	
二硫化メチル	0.009以下	0.009以下	
トリメチルアミン	0.005以下	0.005以下	
アセトアルデヒド	0.05以下	0.05以下	
プロピオンアルデヒド	0.05以下	0.05以下	
ノルマルブチルアルデヒド	0.009以下	0.009以下	
イソブチルアルデヒド	0.02以下	0.02以下	
ノルマルバレルアルデヒド	0.009以下	0.009以下	
イソバレルアルデヒド	0.003以下	0.003以下	
イソブタノール	0.9以下	0.9以下	
酢酸エチル	3以下	3以下	
メチルイソブチルケトン	1以下	1以下	
トルエン	10以下	10以下	
スチレン	0.4以下	0.4以下	
キシレン	1以下	1以下	
プロピオン酸	0.03以下	0.03以下	
ノルマル酪酸	0.001以下	0.001以下	
ノルマル吉草酸	0.0009以下	0.0009以下	
イソ吉草酸	0.001以下	0.001以下	

注 測定結果は次回（第47回）の委員会で報告します。

\* 悪臭物質 22項目はすべて計量結果定量下限値未満です。

## 6 排水基準

測定頻度	年1回
------	-----

項目	法基準	保証値	評価
プラント排水	測定結果表に記載	測定結果表に記載	—

測定業者：中外テクノス株式会社

項目	法基準	保証値	測定結果 注
測定日	—	—	
温度	45℃未満	45℃未満	
水素イオン濃度	5を超え9未満	5を超え9未満	
生物化学的酸素要求量	600mg/l 未満	600mg/l 未満	
浮遊物質	600mg/l 未満	600mg/l 未満	
N-ヘキサン抽出物質動物油脂類	30mg/l 以下	30mg/l 以下	
N-ヘキサン抽出物質鉱物油類	5mg/l 以下	5mg/l 以下	
よう素消費量	220mg/l 以下	220mg/l 以下	
カドミウム	0.01mg/l 以下	0.01mg/l 以下	
全シアン	検出されないこと	検出されないこと	
有機リン	検出されないこと	検出されないこと	
鉛	0.1mg/l 以下	0.1mg/l 以下	
六価クロム	0.05mg/l 以下	0.05mg/l 以下	
ひ素	0.05mg/l 以下	0.05mg/l 以下	
総水銀	0.0005mg/l 以下	0.0005mg/l 以下	
アルキル水銀	検出されないこと	検出されないこと	
ポリ塩化ビフェニル	検出されないこと	検出されないこと	
フェノール類	0.5mg/l 以下	0.5mg/l 以下	
銅	1mg/l 以下	1mg/l 以下	
亜鉛	2mg/l 以下	2mg/l 以下	
溶解性鉄	5mg/l 以下	5mg/l 以下	
溶解性マンガン	5mg/l 以下	5mg/l 以下	
総クロム	1mg/l 以下	1mg/l 以下	
ふっ素	8mg/l 以下	8mg/l 以下	
全リン	32mg/l 以下	32mg/l 以下	
総窒素	240mg/l 以下	240mg/l 以下	
トリクロロエチレン	0.1mg/l 以下	0.3mg/l 以下	
テトラクロロエチレン	0.1mg/l 以下	0.1mg/l 以下	
1,1,1-トリクロロエタン	3mg/l 以下	3mg/l 以下	

四塩化炭素	0.02mg/1 以下	0.02mg/1 以下	
ジクロロメタン	0.2mg/1 以下	0.2mg/1 以下	
1,2-ジクロロエタン	0.04mg/1 以下	0.04mg/1 以下	
1,1-ジクロロエチレン	1mg/1 以下	0.2mg/1 以下	
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4mg/1 以下	0.4mg/1 以下	
1,1,2-トリクロロエタン	0.06mg/1 以下	0.06mg/1 以下	
1,3-ジクロロプロペン	0.02mg/1 以下	0.02mg/1 以下	
ベンゼン	0.1mg/1 以下	0.1mg/1 以下	
チウラム	0.06mg/1 以下	0.06mg/1 以下	
シマジン	0.03mg/1 以下	0.03mg/1 以下	
チオベンカルブ	0.2mg/1 以下	0.2mg/1 以下	
セレン	0.1mg/1 以下	0.1mg/1 以下	
ホウ素	10mg/1 以下	10mg/1 以下	
アンモニア性窒素, 亜硝酸 性窒素および硝酸性窒素	380mg/1 以下	380mg/1 以下	
1,4-ジオキサン	0.5mg/1 以下	—	

注 測定結果は次回（第47回）の委員会で報告します。

\* 測定場所：放流桝

## 7 溶融スラグ及び飛灰固化物

測定頻度	年 1 2 回
------	---------

項目	法基準	保証値	評価
溶融スラグ	土壌環境基準	測定結果表に記載	—
飛灰固化物	埋立に係る判定基準	測定結果表に記載	○
主灰	埋立に係る判定基準	測定結果表に記載	○

\* 現在溶融炉を休止しているため溶融スラグは発生していません。

\* 飛灰固化物は焼却飛灰固化物の測定結果です。

### 飛灰固化物（溶出試験）

測定業者：中外テクノス株式会社

項目	保証値 (法基準)	測定日	測定結果
アルキル水銀 化合物	検出されないこと (検出されないこと)	8/4	不検出
		9/1	不検出
		10/6	不検出
		11/3	不検出
		11/30	不検出
		1/18	不検出
水銀又は その化合物	0.005mg/1 以下 (0.005mg/1 以下)	8/4	0.0005 未満
		9/1	0.0005 未満
		10/6	0.0005 未満
		11/3	0.0005 未満
		11/30	0.0006
		1/18	0.0005 未満
カドミウム又は その化合物	0.3mg/1 以下 (0.09mg/1 以下)	8/4	0.009 未満
		9/1	0.009 未満
		10/6	0.009 未満
		11/3	0.009 未満
		11/30	0.009 未満
		1/18	0.009 未満
鉛又は その化合物	0.3mg/1 以下 (0.3mg/1 以下)	8/4	0.01 未満
		9/1	0.01 未満
		10/6	0.01 未満
		11/3	0.01 未満
		11/30	0.01 未満
		1/18	0.01 未満

有機リン化合物	1mg/1 以下 (一)	8/4	0.1 未満
		9/1	0.1 未満
		10/6	0.1 未満
		11/3	0.1 未満
		11/30	0.1 未満
		1/18	0.1 未満
六価クロム化合物	1.5mg/1 以下 (1.5mg/1 以下)	8/4	0.14
		9/1	0.18
		10/6	0.15
		11/3	0.10
		11/30	0.09
		1/18	0.09
ヒ素又はその化合物	0.3mg/1 以下 (0.3mg/1 以下)	8/4	0.005 未満
		9/1	0.005 未満
		10/6	0.005 未満
		11/3	0.005 未満
		11/30	0.005 未満
		1/18	0.005 未満
シアン化合物	1.0mg/1 以下 (一)	8/4	0.01 未満
		9/1	0.01 未満
		10/6	0.01 未満
		11/3	0.01 未満
		11/30	0.01 未満
		1/18	0.01 未満
ポリ塩化ビフェニル	0.003mg/1 以下 (一)	8/4	0.0003 未満
		9/1	0.0003 未満
		10/6	0.0003 未満
		11/3	0.0003 未満
		11/30	0.0003 未満
		1/18	0.0003 未満
トリクロロエチレン	0.3mg/1 以下 (一)	8/4	0.01 未満
		9/1	0.01 未満
		10/6	0.01 未満
		11/3	0.01 未満
		11/30	0.01 未満
		1/18	0.01 未満
テトラクロロエチレン	0.1mg/1 以下 (一)	8/4	0.01 未満
		9/1	0.01 未満
		10/6	0.01 未満
		11/3	0.01 未満
		11/30	0.01 未満
		1/18	0.01 未満
	0.3mg/1 以下	8/4	0.017

セレン又は その化合物	(0.3mg/1 以下)	9/1	0.016
		10/6	0.013
		11/3	0.012
		11/30	0.015
		1/18	0.017
1. 4-ジオキサン	(0.5mg/1 以下)	8/4	0.05 未満
		9/1	0.05 未満
		10/6	0.05 未満
		11/3	0.05 未満
		11/30	0.05 未満
		1/18	0.05 未満

### 主灰（溶出試験）

測定業者：中外テクノス株式会社

試験項目	保証値	測定日	測定結果
アルキル水銀化合物	検出されないこと (検出されないこと)	8/4	不検出
		9/1	不検出
		10/6	不検出
		11/4	不検出
		12/1	不検出
		1/19	不検出
水銀又は その化合物	0.005mg/1 以下 (0.005mg/1 以下)	8/4	0.0005 未満
		9/1	0.0005 未満
		10/6	0.0005 未満
		11/4	0.0005 未満
		12/1	0.0005 未満
		1/19	0.0005 未満
カドミウム又は その化合物	0.3mg/1 以下 (0.09mg/1 以下)	8/4	0.009 未満
		9/1	0.009 未満
		10/6	0.009 未満
		11/4	0.009 未満
		12/1	0.009 未満
		1/19	0.009 未満
鉛又は その化合物	0.3mg/1 以下 (0.3mg/1 以下)	8/4	0.01 未満
		9/1	0.01 未満
		10/6	0.01 未満
		11/4	0.01 未満
		12/1	0.01 未満
		1/19	0.01 未満
有機リン 化合物	1mg/1 以下 (—)	8/4	0.1 未満
		9/1	0.1 未満

		10/6	0.1 未満
		11/4	0.1 未満
		12/1	0.1 未満
		1/19	0.1 未満
六価クロム 化合物	1.5mg/1 以下 (1.5mg/1 以下)	8/4	0.05 未満
		9/1	0.05 未満
		10/6	0.05 未満
		11/4	0.05 未満
		12/1	0.05 未満
		1/19	0.05 未満
ヒ素又は その化合物	0.3mg/1 以下 (0.3mg/1 以下)	8/4	0.005 未満
		9/1	0.005 未満
		10/6	0.005 未満
		11/4	0.005 未満
		12/1	0.005 未満
		1/19	0.005 未満
シアン化合物	1.0mg/1 以下 (—)	8/4	0.01 未満
		9/1	0.01 未満
		10/6	0.01 未満
		11/4	0.01 未満
		12/1	0.01 未満
		1/19	0.01 未満
ポリ塩化 ビフェニル	0.003mg/1 以下 (—)	8/4	0.0003 未満
		9/1	0.0003 未満
		10/6	0.0003 未満
		11/4	0.0003 未満
		12/1	0.0003 未満
		1/19	0.0003 未満
トリクロロエチレン	0.3mg/1 以下 (—)	8/4	0.01 未満
		9/1	0.01 未満
		10/6	0.01 未満
		11/4	0.01 未満
		12/1	0.01 未満
		1/19	0.01 未満
テトラクロロエチレン	0.1mg/1 以下 (—)	8/4	0.01 未満
		9/1	0.01 未満
		10/6	0.01 未満
		11/4	0.01 未満
		12/1	0.01 未満
		1/19	0.01 未満
セレン又は	0.3mg/1 以下 (0.3mg/1 以下)	8/4	0.005 未満
		9/1	0.005 未満
		10/6	0.005 未満

その化合物		11/4	0.005 未満
		12/1	0.005 未満
		1/19	0.005 未満
1. 4-ジオキサン	(0.5mg/l 以下)	8/4	0.05 未満
		9/1	0.05 未満
		10/6	0.05 未満
		11/4	0.05 未満
		12/1	0.05 未満
		1/19	0.05 未満



## 第2 周辺環境監視項目

### 1 大気測定（工場棟西側）

評価	前年度1年間
----	--------

#### 【長期的評価】

項目	基準値	令和2年度	評価
二酸化硫黄	日平均値の2%除外値 (注1)が0.04ppm以下	*	—
	日平均値が0.04ppmを 越えた日が2日以上連 続しない	*	—
二酸化窒素	日平均値の98%値 (注2)が0.04~0.06ppm 内又はそれ以下	*	—
浮遊粒子状物質	日平均値の2%除外値 が0.1 mg/m <sup>3</sup> 以下	*	—
	日平均値が0.1 mg/m <sup>3</sup> を超えた日が2日以上 連続しない	*	—

\* 結果は次回（第47回）の委員会で報告します。

\* モニタリングは1年を通じて実施しています。

注1 2%除外値とは、1年間のすべての日平均値を値の高い方から低い方に順（降順に並べたとき、最高値から数えて2%分の日数に1を加えた番号に該当する日平均値

注2 98%値とは、1年間のすべての日平均値を値の低い方から高い方に順（昇順に並べて、最低値から数えて98%目の該当する日平均値

## 2 大気中のダイオキシン類

評価	年度平均値
----	-------

### ダイオキシン類 <令和2年度>

測定業者：上総環境調査センター

単位：[pg-TEQ/m<sup>3</sup>]

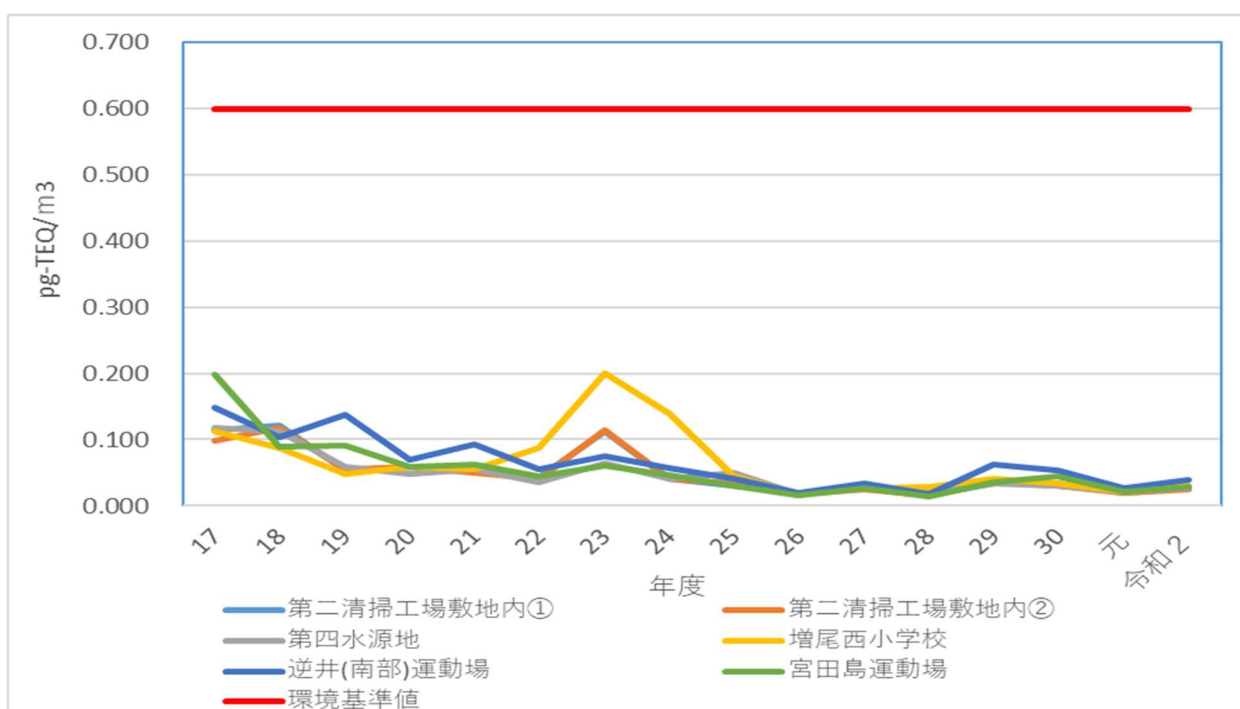
地点名	春季	夏季	秋季	冬季	平均値	評価
	5月20日 ～5月27日	7月8日 ～15日	10月7日 ～14日	1月6日 ～13日		
第二清掃工場敷地内	0.012	0.0060	0.017	0.052	0.022	○
	0.011 注1	0.0074 注1	0.017 注1	0.056 注1	0.023	○
第四水源地	0.013	0.0060	0.015	0.050	0.021	○
増尾西小学校	0.011	0.015	0.022	0.052	0.025	○
逆井(南部)運動場	0.023	0.0088	0.061	0.11	0.051	○
宮田島運動場	0.016	0.0086	0.022	0.059	0.026	○
環境基準値	0.6以下					
千葉県(65地点)注2	0.011～0.12(平均値 0.032)					
全国(619地点)注3	0.0032～0.17(平均値 0.018)					

注1 第二清掃工場敷地内測定の下段は二重測定した結果です。

注2 千葉県平均値：「令和元年度ダイオキシン類に係る常時監視結果について」（令和元年8月千葉県）記載の一般環境大気中のダイオキシン類濃度の平均値

注3 全国平均値：「平成30年度ダイオキシン類に係る環境調査結果」（平成30年4月環境省）記載の一般環境大気中のダイオキシン類濃度の平均値

### 参考 大気中のダイオキシン 平成17～令和2年度 平均値



### 第3 報告事項（令和2年8月～令和3年1月）

<焼却炉>

- 1号焼却炉の稼働日 令和2年8/1 ～9/9 （40日稼働）  
令和3年1/14～1/31 （18日稼働）
- 2号焼却炉の稼働日 令和2年9/9 ～12/23 （106日稼働）
- ※全炉停止期間<令和2年12/24～令和3年1/13>（21日停止）

#### 1～4（焼却量，排ガス量，排水量，灰溶融量）

	項目	協定事項	実績（日時）	評価
1	焼却量	最大 250 t/日以下 年平均 200 t/日以下	最大 132.20 t/日 (9/9)<2炉運転> 平均焼却量： 99.252 t/日 稼働日平均： 112.039 t/日	○
2	排ガス量	最大 36,540Nm <sup>3</sup> h/ 1時間・1系列	1号炉:最大 28,200m <sup>3</sup> /h (8/1, 8時) 2号炉:最大 31,400m <sup>3</sup> /h (12/23, 11時)	○
3	排水量	最大 315 m <sup>3</sup> /日	最大 93.86 m <sup>3</sup> /日 (8/12)	○
4	灰溶融量	最大 23 t/日・炉	運転なし	—

5 第二清掃工場に係る事故  
事故の発生はありません。

#### 6 その他必要な事項

- (1) 前回第二清掃工場委員会後の故障等  
故障等の発生はありません。
- (2) 一般の苦情  
苦情等はありません。

(3) 小規模爆発事故後の水素濃度について報告

平成25年10月22日小規模爆発事故後、主灰バイパスコンベア等の水素濃度を継続して確認しています

水素濃度測定結果（日別最大値）

（令和2年8月～令和3年1月）

測定業者：柏環境テクノロジー

項目	評価基準	測定最大値（平均値）	評価
水素濃度（主灰バイパスコンベア）	0.8%	0.09%(0.05%)	○
（加湿機水封部）		0.10%(0.05%)	○
（加湿機駆動部）		0.13%(0.06%)	○

## 第4 放射性物質対応経過について

### 1 指定廃棄物の保管量

令和3年3月現在

保管場所	保管方法	保管量	
南部クリーンセンター	仮保管庫(ボックスカルバート)	約493t	約373t
	工場建屋内		約120t
北部クリーンセンター	仮保管庫(ボックスカルバート)	約494t	
柏市最終処分場	処分場内(コンクリートボックス)	約76t	
合計		約1,063t	

\* 指定廃棄物の量の増減はありません。

### 2 焼却灰等の測定結果(放射性セシウム134, 137)

(1) 主灰・焼却飛灰固化物：(Bq/kg)，放流水：(Bq/l)

測定業者：永山環境科学研究所

年月	採取日	主灰	採取日	焼却飛灰固化物	採取日	放流水
R2年8月分	8/3	59	8/3	254	8/3	不検出
R2年9月分	9/7	91	9/6	315	9/7	不検出
R2年10月分	10/12	82	10/11	353	10/12	不検出
R2年11月分	11/16	76	11/15	350	11/16	不検出
R2年12月分	12/21	75	12/20	358	12/21	不検出
R3年1月分	1/18	30	1/17	205	1/18	不検出

(2) 排出ガス：(Bq/m<sup>3</sup>) 測定業者：東京テクニカル・サービス

試料採取日	円筒ろ紙部	ドレン部
R2年8月3日	不検出	不検出
R2年9月14日	不検出	不検出
R2年10月12日	不検出	不検出
R2年11月9日	不検出	不検出
R2年12月14日	不検出	不検出
R3年1月18日	不検出	不検出

### 3 空間量測定結果の経過について

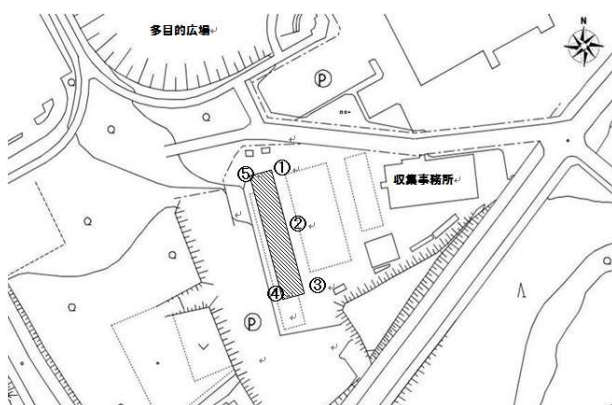
(1) 柏市南部クリーンセンター周辺の空間放射線量測定の結果について



測定結果 ( $\mu\text{Sv}$ (マイクロシーベルト)/時)

測定日	測定高	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
H31. 3. 1	5cm	0.09	0.09	0.08	0.07	0.07	0.06	0.04	0.07	0.12
R2. 3. 3		0.10	0.08	0.07	0.07	0.06	0.04	0.04	0.08	0.11
R3. 3. 1		0.08	0.07	0.09	0.08	0.05	0.05	※	0.09	0.08
H31. 3. 1	50cm	0.08	0.06	0.07	0.08	0.06	0.04	0.05	0.07	0.11
R2. 3. 3		0.09	0.09	0.07	0.08	0.07	0.05	0.03	0.07	0.10
R3. 3. 1		0.10	0.06	0.08	0.06	0.04	0.03	※	0.07	0.10
H31. 3. 1	1m	0.10	0.08	0.07	0.07	0.06	0.04	0.05	0.07	0.09
R2. 3. 3		0.06	0.06	0.07	0.09	0.07	0.05	0.05	0.06	0.08
R3. 3. 1		0.07	0.07	0.09	0.06	0.05	0.05	※	0.08	0.09

(2) 仮保管庫周辺の空間放射線量測定の結果について



測定結果 ( $\mu\text{Sv}$ (マイクロシーベルト)/時)

測定日	測定高	①	②	③	④	⑤
H31. 3. 1	1m	0.059	0.078	0.076	0.073	0.084
R2. 3. 3		0.059	0.092	0.075	0.087	0.084
R3. 3. 1		0.064	0.084	0.066	0.083	0.082

## 第5 実施状況及び今後の日程について

開催日	委員会名	主な議題
平成17年9月30日	第1回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成17年11月11日	第8回臨時会	飛灰固化物（溶融）の基準値超過に対する原因究明及び改善措置等
平成18年2月10日	第9回臨時会	飛灰固化物砒素溶出対策の検証
平成18年3月29日	第2回定例会	1 監視項目等の測定結果及び報告事項他 2 飛灰固化物砒素等溶出対策のまとめ
平成18年9月29日	第3回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成19年3月27日	第4回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成19年9月28日	第5回定例会	1 監視項目等の測定結果及び報告事項他 2 周辺住民への情報提供
平成19年12月1日	第10回臨時会	煙突錆飛散対策のについて
平成20年3月27日	第6回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成20年9月30日	第7回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成21年3月26日	第8回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成21年9月30日	第9回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成22年3月26日	第10回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成22年9月29日	第11回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成23年3月25日	第12回定例会	1 監視項目等の測定結果及び報告事項他 2 東北地方太平洋沖地震発生による対応
平成23年4月20日	第11回臨時会	飛灰固化物における鉛の規準値超過

平成23年7月13日	第12回臨時会	1 飛灰固化物における鉛の規準値超過 2 放射能に汚染されたごみの焼却灰に関する対応について
平成23年9月30日	第13回定例会	1 監視項目等の測定結果及び報告事項他 2 放射性物質対応経過 3 地震時運転マニュアル
平成24年3月28日	第14回定例会	1 監視項目等の測定結果及び報告事項他 2 放射性物質対応経過 3 地震時運転マニュアル
平成24年6月6日	第13回臨時会	1 焼却灰仮保管施設について
平成24年9月28日	第15回定例会	1 監視項目等の測定結果及び報告事項他 2 放射性物質対応経過 3 地震時運転マニュアル
平成25年3月28日	第16回定例会	1 監視項目等の測定結果及び報告事項他 2 放射性物質対応経過
平成25年9月27日	第17回定例会	1 監視項目等の測定結果及び報告事項他 2 放射性物質対応経過
平成25年11月1日	第14回臨時会	柏市第二清掃工場内小規模爆発について
平成26年3月28日	第18回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他

平成 26 年 9 月 26 日	第 1 9 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成 27 年 3 月 27 日	第 2 0 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成 27 年 10 月 2 日	第 2 1 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成 28 年 3 月 25 日	第 2 2 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成 28 年 9 月 30 日	第 2 3 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成 29 年 3 月 24 日	第 2 4 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成 29 年 9 月 29 日	第 2 5 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成 30 年 3 月 23 日	第 2 6 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成 30 年 9 月 28 日	第 2 7 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
平成 31 年 3 月 22 日	第 2 8 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
令和元年 10 月 3 日	第 2 9 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
令和 2 年 3 月 27 日	第 3 0 回定例会 (開催中止)	監視項目等の測定結果及び報告事項他
令和 2 年 10 月 日	第 3 1 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他
令和 3 年 3 月	第 3 2 回定例会 (書面会議)	監視項目等の測定結果及び報告事項他
令和 3 年 9 月 24 日 (次回予定)	第 3 3 回定例会	監視項目等の測定結果及び報告事項他



## 第46回柏市第二清掃工場運営委員会（第32回定例会）説明資料

### 《第1監視項目（令和2年8月から令和3年1月分）》

#### P. 1 1 排ガス

ばいじん量・硫黄酸化物・塩化水素・窒素酸化物・水銀・一酸化炭素について計4回測定しました。測定結果は全て保証値を下回っていました。

#### P. 2 2 ダイオキシン類

排ガス・主灰。飛灰・水質（放流水）について測定を実施しました。測定結果は全て保証値を下回っていました。

なお、溶融スラグは溶融炉を停止しており、スラグの発生がないため、その代替として主灰の測定を行なっております。

#### P. 3～5 3 騒音基準（清掃工場敷地境界及び敷地内）

測定箇所は5ページの図で示されている20か所測定点で測定を実施しました。測定結果は表のとおりいずれも保証値以下でした。

#### P. 6 4 振動基準（清掃工場敷地境界）

測定頻度は年1回であり、本年度の結果は前回の委員会で報告しております。

#### P. 7～8 5 悪臭基準（清掃工場敷地境界）

測定頻度は年1回であり、本年度の結果は前回の委員会で報告しております。

#### P. 9～10 6 排水基準

測定頻度は年1回であり、本年度の結果は前回の委員会で報告しております。

#### P. 11～15 7 溶融スラグ及び飛灰固化物

測定結果は飛灰固化物および主灰全て保証値を下回っていました。

なお、溶融スラグは溶融炉を停止しており、スラグの発生がないため、その代替として主灰の測定を行なっております。

### 《第2 周辺環境監視項目》

#### P. 16 1 大気測定（工場棟西側）

1年間の測定結果を大気環境基準と比較した結果を報告しています。評価は年間平均値で行うため、次回（第47回）の委員会で報告いたします。

#### P. 17 2 大気中のダイオキシン類

大気中ダイオキシンの測定は千葉県内で一斉に実施している日程に合わせて実施しています。評価は年間平均値で行います。

いずれの地点でも年間の平均値が環境基準値の0.6pg/m<sup>3</sup>を下回っており問題ありませんでした。

### 《第3 報告事項（令和2年8月～令和3年1月）》

#### P. 18 〈焼却炉〉

1号焼却炉の稼働日は令和2年8月1日から9月9日の40日間。および令和3年1月21日から1月31日の18日間。2号焼却炉の稼働日は令和2年の9月9日から12月23日の106日間稼働しました。

全炉停止期間は12月24日から令和3年1月13日の21日間停止しています。

#### P. 18 1～4（焼却量，排ガス量，排水量，灰溶解量）

焼却量，排ガス量，排水量については協定事項に適合しております。灰溶解量については灰溶解炉を休止しているため運転実績はありません。

#### P. 18 5 第二清掃工場に係る事故

第二清掃工場に係る事故は発生していません。

#### P. 18～19 6 その他必要な事項について

(1) 前回第二清掃工場運営委員会後の故障等について，故障等はありませんでした。

(2) 一般の苦情について，苦情はありませんでした。

(3) 小規模爆発事故後の水素濃度について

平成25年10月22日小規模爆発事故後，主灰バイパスコンベア等の水素濃度を継続して確認しています

水素濃度は主灰バイパスコンベア，加湿器水封部，加湿器駆動部の3箇所測定しています。評価基準の水素濃度0.8%に対して，主灰バイパスコンベア，加湿器水封部，加湿器駆動部のいずれも最大値が0.09～0.13%で十分下回っていました。

### 《第4 放射性物質対応経過について》

#### P. 20 1 指定廃棄物の保管量について

市内における指定廃棄物の保管量について，増減はありません。焼却灰等については民間処分場に運搬し最終処分しています。

#### P. 20 2 焼却灰等の測定結果（放射性セシウム134，137）

主灰については，9月に最大で91Bq/kg，飛灰固化物は12月に最大で358Bq/kgでした。放流水，排ガスの測定結果はすべて不検出でした。

#### P. 21 3 空間放射線量測定結果の経過について

(1) 南部クリーンセンター周辺の空間放射線量測定の結果について，表の網掛けの最も濃い部分が今年の3月1日の測定結果です。測定結果に変動はありますがいずれもほぼ横ばいと考えます。

(2) 仮保管庫周辺の空間放射線量測定の結果について，南部クリーンセンター周辺の測定結果と同様，測定結果に変動はありますがいずれもほぼ横ばいと考えます。